NTTファシリティーズ

NTTファシリティーズはNTTが通信省であった時代から100年以上にわたって、災害時でも絶えることの許されない日本の情報通信を守り続けている。

同社は東日本大震災の際にも、東北地方の通信の早期回復に向けた復旧活動や、計画停電による通信への影響を最小化するための対応計画策定とその対策活動に尽力してきた。

企業が自然災害などの緊急事態を生き抜くために、建物や設備の信頼性確保や事業継続計画（BCP）の重要性が改めて注目される昨今、同社はこのような災害対応に関する豊富な経験・実績、またそれらを通じて培ってきたノウハウを生かし、企業が事業を継続するためのソリューションを減災対策から初動・復旧対策までトータルに提供している。

ダイワボウ

ダイワボウグループは衣料・寝装具・マスク、ポリプロピレンやレーヨン繊維、制汗シートなどの不織布、カートリッジフィルターや難燃素材を使用した産業・土木資材など、さまざまな製品を開発している。

「社会貢献はグループの製品を通じて」というコンセプトから、これまでも2009年のメキシコのインフルエンザ流行や11年2月の新燃岳噴火、同3月の東日本大震災などにはマスクや肌着などを自治体やNPOに寄付。グループ横断で復興時のニーズをとらえ、製品の使用シーンを想定し復興に貢献する「震災復興チーム」を立ち上げた。すでに汚染物質吸着マスクや土のう袋などを商品化。厳しい現場で活躍中だ。同社は今後も顧客のニーズや問題解決を念頭に、新たなシステム・製品の開発に取り組み、社会貢献を進める。

東洋ゴム化工品

東洋ゴム化工品の高減衰積層ゴムはタイヤメーカーとしての強みを生かした独自の配合技術により、やわらかく、免震効果が高い。ゴム分子間相互のエネルギー吸収能力を高めた特殊配合ゴムを使用し、揺れ幅の制御に加え、地震後の敏速な静止機能を備える。ダンパー機能一体型として維持管理が容易なのが特徴。せん断弾性係数（G）が1平方ミリメートル当たり0・35メガパスカル、同0・39メガパスカル、同0・62メガパスカルの3タイプをラインアップ。中でもG0・35は地震力低減に高い効果を発揮する同社のロングセラー製品である。

同社の製品は高層建築物から低層建築物まで幅広くカバーしており構造設計者にとって選択肢が豊富。このほか「天然ゴム系積層ゴム支承」や「弾性すべり支承」もラインアップするなど、建設免震ゴムの幅広いニーズに対応できる。

東京ビッグサイト

東京ビッグサイトは「Innovate! Next Safety Stage」を共通テーマに今年10月、「東京国際消防防災展2013」と「危機管理産業展2013」の2展を初めて同時開催する。会期は消防防災展が2日から5日まで、危機管理産業展は4日まで。東京国際消防防災展は「東日本大震災を教訓とした各種災害リスクを周知し、都民などの防災意識および行動力を向上させるとともに、高度防災都市の実現に向け、住民・企業・行政による者相互の連携強化並びに関連技術・産業の振興を促進すること」を目的として開催する。一方、危機管理産業展は「防災」「リスク管理」「防犯」を横断的に統合した「危機管理トレードショー」として開催。出展申し込みは東京ビッグサイト（03・5530・1121）へ。

昭電

東日本大震災以降、各地で地震が多発しており、企業の事業継続（BC）が脅かされている。このような状況を踏まえて、震度7相当の揺れを安全なレベルまで減衰する昭電の免震装置「SD−5typeⅡ」への引き合いが増えている。セパレートタイプなのでケーブル接続中の機器にも導入可能。ラック、マシンの台数に合わせて連結もできる。東日本大震災時も同装置は大きな効果を発揮。導入したユーザーのデータセンター（DC）やサーバルームではサーバラックの転倒や免震装置の破損といった地震被害は発生しなかった。

このほかにも同社では複合機の移動・転倒防止用「キャストップ」やOAフロアの耐震工法なども手がけており、顧客の地震対策を強力にサポートする。

氏家製作所

氏家製作所が独自開発した「グッドカッター」は中小企業融合化優秀製品賞および工業技術奨励賞を受賞。その用途は工作機械使用時に発生する切粉の剪断（せんだん）、シュレッダーダストの前処理破砕、剪定枝（せんてい）や雑草類の堆肥化、生ゴミのリサイクル化など幅広く採用されている。

「一体型変則ネジレ刃」は切れ味、破砕力、耐久性に優れ、低トルク・低騒音・安全性の評価とあいまって防衛省や自治体、公団はじめ各所に「リサイクルカッター」として納入され威力を発揮している。

今後も「お客様第一」「品質第一」「安全第一」をモットーにサービスの即納体制を整えていく方針。次世代に向けた破砕機の製造販売に努力を重ねていく。

NECフィールディング

NECフィールディングは地域密着型データセンター（DC）を活用して、システムの導入から運用までの「ライフサイクルマネジメントサービス」を提供する。

強固なネットワークセキュリティーに加え、防災・危機管理対策による信頼性の高いサーバルームファシリティーなどで、顧客のシステムを預かる万全の体制を整えている。

同社の地域密着型DCは現在開設している北海道、中部地区に加え、3月中に九州地区へ新設予定。災害時のバックアップ需要などにも対応するクラウドサービス提供の強化を促進する。

またインフラ設備一式をパッケージ化することによって、DC構築工期を短縮し、最適な設備投資を低コストで実現するコンテナ型DC「モジュラーデータセンター」も提供している。

京葉ガス

京葉ガスは都市ガスを安全に安定して供給するため、日ごろから地震に対する体制整備と対策強化に力を入れている。

ガス導管には耐震性に優れたガス管を使用。全体の90%を占める低圧導管は阪神・淡路大震災や東日本大震災などで耐震性が証明された「ポリエチレン管」を積極的に採用している。

大地震で特定地域に大きな被害が集中した場合、ガスもれや火災などの二次災害を防止するためにガス供給を停止することがある。同社は「ガス導管のブロック化」を行っており、供給停止範囲を最小限にとどめ、復旧作業を迅速に行える体制を整えている。

各家庭では震度5以上の揺れの感知でマイコンメーターが自動的にガスをストップし、二次災害を防ぐ。復帰操作は顧客自身で行うことができるようになっている。

震災の記憶を風化させない

復旧・復興・防災・省エネ・節電

役立てて欲しい製品・サービス

アイコム

東日本大震災では無線機が災害時の通信手段として見直された。アイコムは無線機とIP技術を融合し、無線機にさらなる拡張性と信頼性を与える無線通信システムを提案している。

システムの核となる製品は「RoIPゲートウェイVE−PG3」。無線機の音声データをVE−PG3を介してIP回線に接続することで、IP電話と無線機間の通話を可能にする。さらに、構内放送設備や非常灯などと連動させることもできるため、非常時に重要となる迅速な情報伝達を実現する通信ソリューションを構築できる。

また、電話回線が混雑してつながりにくくなる時や携帯電話回線の通話制限時にも活用しやすい。例えば被災地と本社間を結ぶ予備的な連絡手段を構築する場合にも有効である。

黒姫

黒姫は浸水や暴風対策向けの「再生砕石」を製造・販売している。土のう袋詰めまで丁寧に行って全国に出荷する。ユーザーはそのまま手軽に活用できると好評だ。

同製品はリサイクル材のため環境にやさしく、低価格。暴風雨や集中豪雨の発生時に、地下駐車場や地下鉄構内の浸水防止、屋根や建材の飛散を防止するための応急措置として、今後も利用拡大が見込まれている。

同社は関東地区全域を活動エリアとする産業廃棄物処理専門会社。大型の地域再開発工事現場から一般住宅の現場まで幅広く展開。これらの工事現場で出されるコンクリートの塊を破砕、砕石の製造販売するリサイクルセンター（千葉県船橋市、袖ケ浦市、茨城県古河市）などの設備も備えており、分別やリサイクルを積極的に推進している。

赤松電気

赤松電気の停電時電源切り替えシステム「エレクピース」は、災害などによる停電時にソーラーシステムやインバーター発電機、電気自動車（EV）、ハイブリッド車（HV）などの外部電源を、安全かつ簡単に屋内で使えるシステム。家庭用から避難所などの施設用まで幅広く対応でき、自家発電に比べ導入費用も格段に安い。

ソーラーシステムや発電機などの各種発電装置を専用ケーブルでコントロールボックスに接続。電源切り替え機能を持つ分電盤内のブレーカーを手動で外部電源用に切り替えるだけで、屋内に電力を供給する仕組み。

こうした簡単な操作性から、すでに自治会の施設、小中学校や幼稚園などの教育施設、また個人病院への設置など、導入実績は急速に増えている。

プロセブン

プロセブン耐震マットは固体と液体の両方の性質を併せ持つGELに、超粘膜性と超低弾性をプラスした新素材製品。震度7クラスに対応し、敷くだけの簡単設置でアンカー打ちなどの設備工事が不要。取り外しも接着面を傷めずにはがすことができる。公的機関の試験でも安全性が認められ、ユーザー独自のテストもクリアしている。

一般用耐震マットの他、「テレビ転倒防止用マットシリーズ」や「B・Dレコーダー用横滑り防止マット」「プロセブンマット船舶用」など品ぞろえも豊富。2013年1月にはサーバやプリンター、計測機器の転倒や横滑りを防ぐ「プロセブンL型ストッパー」を発売した。

同社は今後も「人の命と安全」を守るための製品を追求していく。

ユニチカ

ユニチカは長繊維不織布「エルベス」と透湿防水フィルムを組み合わせた防護服や「放射線遮蔽高強度防水シート」をはじめとする土木資材、あるいは産業技術総合研究所と共同開発したセシウム吸着繊維材「シーエスキャッチャー」といったがれき・廃棄物処理や除染に役立つ製品を多数そろえる。またグループのユニチカ環境技術センターは、放射線測定などの環境調査業務を通じ地域再生に取り組んできた。

昨年には、これら各事業部やグループ企業の持つ能力を効果的に連携するプロジェクト「復興地域再生支援チーム」を発足した。それぞれが保有する技術・サービスを保管・運搬、除染、調査・計測の3分野に集約。これらをニーズに応じて組み合わせ、被災地が求めるソリューションとして提案し、復興地域再生のサポートを図る。

日動工業

日動工業が、復旧・復興に役立つ製品としてアピールしているのが、LED照明の「メガバルーン」や「タワーライト」。復旧・復興作業を行う現場から、避難所などの緊急照明としての用途まで広い分野で好評を得ている。

メガバルーンは360度の広範囲にわたってムラ無く照らし、避難場所などの広い場所でも、少ない灯数で全体を明るく照らすことが可能。タワーライトはリチウムイオンバッテリーを内蔵。復旧現場でも騒音の心配が無く、3メートルの高所から広範囲を照らすことができる。点灯時間も30トップの4灯式で10時間の連続点灯が可能。

また、その他のLED照明として軽量小型な投光器「エコナイターシリーズ」もラインアップしている。

デサン

大型車両の塗装や看板、広告を中心に扱っているデサンは、企業の継続的なエコ・省エネ活動の一助となる製品の販売、施工も行っている。

同社の「高機能性ガラスフィルム」「遮熱・断熱塗料」などの防災・環境対応製品は、各方面から好評を得ている。ユーザーのニーズに合わせ段階的に導入可能なことも採用されている理由の一つ。

高機能性フィルムでは災害時の割れたガラスによる二次災害を防ぐ「飛散防止フィルム」、日射による熱の浸入を半分以下にし、建物の空調負荷を下げる「日射調整フィルム」といった、オフィスや工場の窓に貼るだけで効果を発揮する製品をラインアップ。また、工場の屋根や屋外設備などの広い面積には、塗装することで室内の温度上昇を抑制する「遮熱・断熱塗料」を用意している。

岡村製作所

東日本大震災以降、岡村製作所には水害対策として防水板や、火災時の放水による浸水からも重要部分をしっかりガードする防水扉に問い合わせや引き合いが増えている。

防水板は外部からの浸水対策として有効であり、地下駐車場やマンション・店舗などのエントランス部分に設置されるケースが多い。ラインアップとしては電動・ハンドル・手動タイプや、スライド式、スイング式、脱着式などがある。

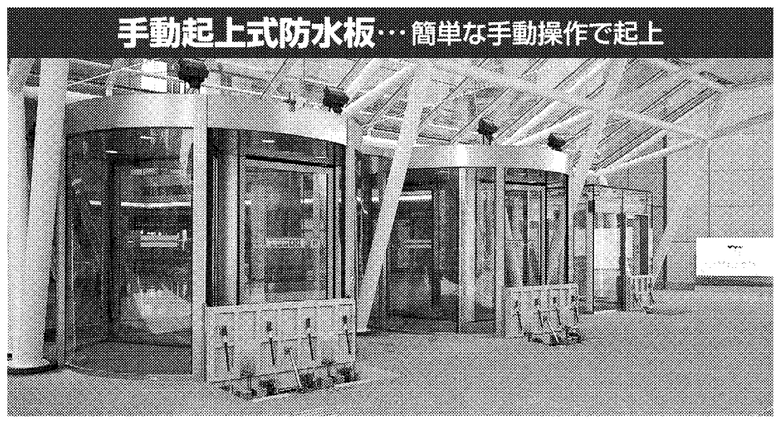
また防水扉は枠体と扉の接触部や周辺、床面通路部分に防水機能を施してあり、開口部をしっかりした防水構造にする。このため公共施設や防災センターなど緊急避難施設に取り付ける事例が多い。また、機械室や電気室などは比較的地下に設置されるケースが多くこういった場所への設置も多くなってきている。

台風・集中豪雨など、さまざまな水害に備えます！

かけがえのない資産や建物を守ります。

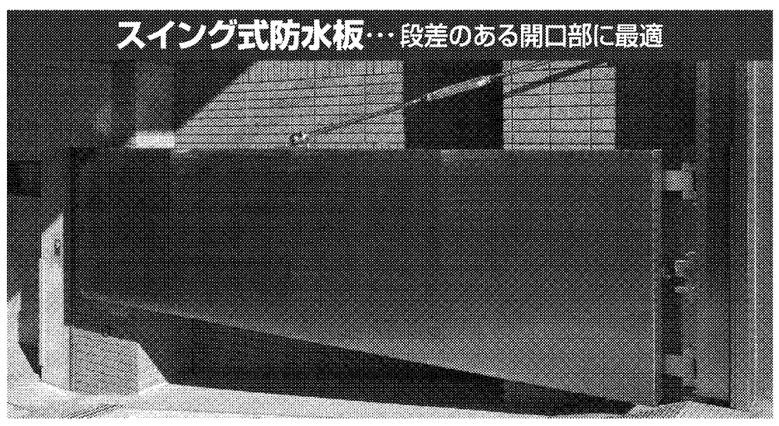
電動起上式防水板…電動で自動的に起上

手動起上式防水板…簡単な手動操作で起上



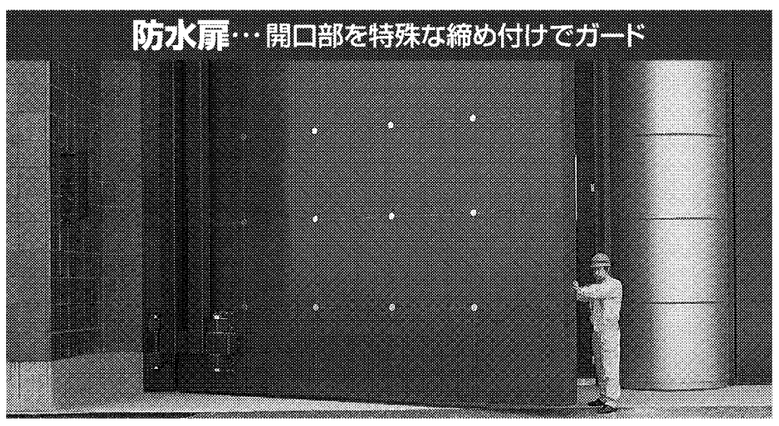
スライド式防水板…幅広の開口部に最適

スイング式防水板…段差のある開口部に最適



脱着式防水板…開口部の枠にしっかり固定

防水扉…開口部を特殊な締め付けでガード



okamura

お問い合わせ・ご相談は【お客様サービスセンター】へ…受付時間/9:00～17:20（土・日・祝日を除く）
※掲載の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

フリーダイヤル 0120-81-9060

●インターネットでオカムラの最新情報をご覧ください。
［オカムラホームページ］http://www.okamura.co.jp/

株式会社 岡村製作所　お客様サービスセンター
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル

よい品は結局おトクです
オカムラ
株式会社 岡村製作所